

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【文部科学省】

施策番号	24011	施策名		リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備			
新規／継続	新規	領域	人財強化	国際的位置付け	—	AP施策	
競争的資金		e-Rad		社会還元			
施策の目的及び概要	リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保する全国的なシステムを整備するとともに、大学等において研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできるリサーチ・アドミニストレーターを育成・確保し、研究者が研究活動に専念できる環境の実現を図る。						
達成目標及び達成期限	平成29年度までに、大学等において、リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保することによって研究マネジメント体制を構築するとともに、スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備、全国ネットワークの構築、及び研究開発マネジメント人材養成プログラムの開発など、リサーチ・アドミニストレーターを定着させる全国的なシステムの構築を実現することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	平成29年度までに、比較的大型の共同研究を獲得するポテンシャルをもつ100機関にリサーチ・アドミニストレーターを配置し、320人を養成する。						
23年度の研究開発目標	本施策により、平成23年度中に、リサーチ・アドミニストレーターを30機関に配置し、100人を養成するとともに、スキル標準の策定、研修・教育プログラムの作成、全国ネットワークの構築、及び研究開発マネジメント人材養成プログラムの開発に着手する。						
施策の重要性	我が国の大学等では、研究開発内容を専門的に理解するとともに、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等を総合的にマネジメントできる人材の養成が十分に進んでいないため、研究者が研究活動以外の業務に忙殺されており、欧州と比較しても、研究者一人当たりの研究支援者数はその半分以下である(日本:0.27人、EU:0.73人)。「新成長戦略」(平成22年6月)にも記載されているような「世界中から優れた研究者を惹きつける魅力的な環境を用意する」ためには、研究活動をマネジメントする体制を強化し、研究者が研究活動に専念できる環境の実現を図る本施策は極めて重要である。						
実施体制	公募により対象となる大学等を選定し、大学等では、リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保する体制を整備。 また、スキル標準の策定、研修・教育プログラムの整備、全国ネットワークの構築、及び研究開発マネジメント人材養成プログラムの開発についても公募により実施予定。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
—				500			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)							
H23概算要求額の内訳	<p>—</p> <p>①大学等における研究環境整備 リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備費:390 【主な内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費:315(100人) ・活動費:30 ・学内整備費:45 <p>②研究環境整備をサポートする仕組みの整備:105 スキル標準策定委託費:15 研修プログラム作成経費:10</p>						

	全国ネットワーク運営費:15 資格制度等検討経費:15 研究開発マネジメント人材養成プログラムの開発経費:50		
期間	H23～H29	資金投入規模(億円)	78
これまでの成果 (継続のみ)	—		
社会情勢・技術の変化 (継続のみ)	—		
昨年度優先度判定 (継続のみ)	—	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)	—
国民との科学・技術対話推進への対応(対象施策のみ)	—		